

2023年3月9日

「米国・東北フェア 2022」の開催結果について

東北経済連合会（会長：増子次郎、以下、当会）が、PPIH（ドン・キホーテを運営する（株）パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス）と連携して、東北・新潟地域事業者の米国向け産品輸出拡大を目的に開催した「米国・東北フェア 2022」について大盛況のうちに終わることができました。

「米国・東北フェア 2022」は、米国で日系スーパーを展開する PPIH グループの「MARUKAI CORPORATION」および「Don Quijote USA」「QSI」が、2022 年 10 月から 12 月にかけて米国のカリフォルニア州・ハワイ州のグループ合計 16 店舗で開催いたしました。

2017 年から実施している「米国・東北フェア」は、コロナ禍の影響により 2021 年は中止となったため、今回は 2 年振りの開催となりました。

今回の「米国・東北フェア 2022」への東北・新潟の出展事業者数は、カリフォルニア・ハワイで延べ 69 社となり、うち 8 社が初参加でした。

「米国・東北フェア 2022」は、事業者による現地での試食販売がコロナ禍により見送られ、現地のお客様に対して商品の魅力を直接伝えられない影響などが心配されていましたが、US ドルベースでの売上高は約 19 万ドル（11 月当時の日本円換算で約 27 百万円）と前回実施された 2020 年の約 1.5 倍となるなど、過去最高の売上を記録しました。

特に、東北・新潟産のコメ・菓子類・ヨーグルト飲料・フルーツ飲料・水産加工品などは、現地のお客様に大変好評でした。

本年も、2023 年 9 月から 11 月にかけて米国で「東北フェア 2023」の開催を予定しており、フェアに向けた商談会を 2023 年 4 月 11 日（火）、4 月 12 日（水）の両日に当会主催で実施いたします。

本商談会は、4 年ぶりに試食を伴う対面形式で開催いたします（一部バイヤーはオンライン参加）。また、秋に開催される東北フェアでは、事業者が渡航しての試食販売も再開される見通しです。

これまでのフェア開催によって、多くの事業者が継続的な取引にもつながっております。当会では、引き続き商材の発掘に努め、東北・新潟の魅力ある農産逸品の輸出拡大につなげてまいりたいと考えています。

以 上



（ハワイ店舗）



（カリフォルニア・店内ポスター）

【ご照会先】（一社）東北経済連合会 地域活性化ユニット
食・観光グループ 大竹 022-397-7063

「米国・東北フェア」について

(添付資料)

1. 「東北フェア」商談会実績 ※2021年度はコロナ禍により中止

回数	年度	参加企業数	成約企業数	成約率
第1回	2017	54社	43社	80%
第2回	2018	44社	34社	77%
第3回	2019	43社	36社	84%
第4回	2020	28社	25社	89%
第5回	2022	26社	25社	96%

2. 「東北フェア 2022」 県別出展事業者数 ※カリフォルニア及びハワイの延べ数

青森	岩手	秋田	宮城	山形	福島	新潟	合計
32社	4社	4社	17社	3社	5社	4社	69社

3. 「東北フェア」販売実績

回数	年度	取扱アイテム数	実演販売社数	主な販売商品
第1回	2017	183品目	19社	水産加工品、リンゴジュース
第2回	2018	277品目	27社	おでん、麺類(うどん・ラーメン)
第3回	2019	301品目	20社	米、揚げかまぼこ
第4回	2020	316品目	(コロナ禍中止)	ボイル帆立、フルーツ大福
第5回	2022	203品目	(コロナ禍中止)	米、おでん

4. 東北フェア事業スキーム

